

平成24年度
実施事業

事務事業名

登別地区保護司会補助金

区分	No	名称
章	2	自然とともに暮らすまち
節	3	安全に安心して暮らせるまちづくり
施策	5	犯罪のない安全なまちづくり
小分類	1	防犯対策の推進
主要な施策	2	②地域ぐるみの防犯活動の推進
事務事業番号	006	事業開始年度 昭和 45 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	罪を犯した人たちの更生の支援、犯罪予防の啓発。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	登別地区保護司会が行なっている事業を推進するため、補助金を交付し支援する。 ・主な事業 「社会を明るくする運動」街頭パレードの参加・協力 青少年の補導活動の実施 保護司活動充実のための研修会や情報交換など
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	罪を犯した人の更生を支援するとともに、犯罪予防の啓発に努め、個人及び公共の福祉に寄与し、明るい社会を実現する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	保護司法（昭和25年法律204号）

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	250	250	250	250	250
事業費 合計			250	250	250	250	250

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 各種研修会の参加延人数（年度ベース）	人	目標値	200	200	200	200	200
			実績値	159	171			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>登別地区保護司会の収入は、会員の会費や寄附金、登別市・白老町からの助成金で賄われている。その資金は、犯罪予防や罪を犯した人の立ち直り（更生保護）等の活動に使用されており、市からの補助が見込めないと活動の縮小等の支障が出る。</p>	<p>市が補助することで、更生保護活動や犯罪のない明るい社会づくりの構築に寄与することができる。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間（事業者、市民団体等）でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	判断理由及びその他所見 保護司の資質向上と活動を支援するため、市が補助することは妥当である。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	判断理由及びその他所見 社会を明るくする運動の参加・協力や、青少年の補導・更生活動等を年間を通し行っており必要性は高い。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト（事業費）のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	判断理由及びその他所見 登別地区保護司会の保護司は、無償で犯罪予防の啓発活動や更生保護活動に取り組んでおり、効率性は高い。
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	判断理由及びその他所見 犯罪や、非行に走る人のいない明るい社会の構築を目的に様々な活動を行うことで、犯罪や非行に走る人の減少につながり成果はあがっている。

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠） 登別地区保護司会の活動は、犯罪を犯した人たちの立ち直りや犯罪予防等明るい社会づくりには欠かすことのできないものであり、引き続き補助を継続する。
-----------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----